



112
5124

乙
...
...

去日 世々
 美即 乃
 丁里 乃
 亦乃 乃
 志の端 乃
 みるき 乃
 かぎり 乃
 去々 乃



作 齊 二 段



あつむり何ぞや人老
さひしとねあそ
あそ人そきえ
あそ

伊勢守



人あきむ
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや
あつむり何ぞや

伊勢守



すねがあるうの
 山道ろくろの
 夏も人
 何れもこころ

甲子

四



かしらあはれも
 さしほあはれ
 法りー河邊ハ
 えんぐあはれ
 きびあはれ
 れも

信野

三

十一



伊弉諾

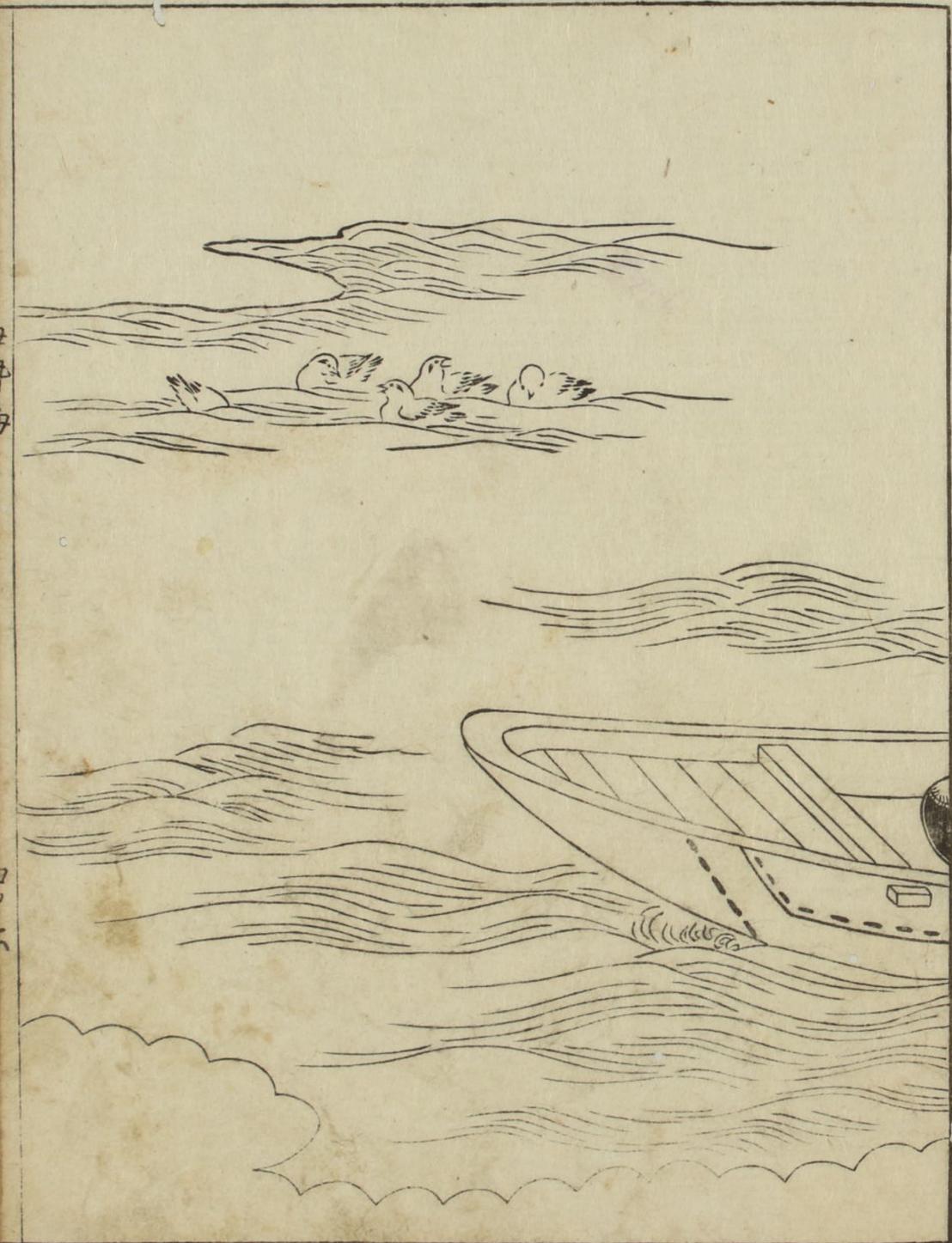
二ノ



時
あ
ら
む
屋
下
り
ゆ
り
乃
か
の
こ
あ
ら
む
か
ゆ
り
乃

伊弉諾

二ノ



舟の舟

舟の舟



舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟

舟の舟



あき行
 高が
 西
 ねん
 くれ
 わ
 りれ
 如
 う系

日
 月

日
 月



井筒
 の
 かけ
 道
 い
 み
 海

日
 月

日
 月

十

鳴り 夜
 あり 花
 人 鳴
 鳴 鳴
 鳴 鳴



母子

コノ

鳴り 夜
 あり 花
 人 鳴
 鳴 鳴



作新

コノ



かゝる
きし
徳

丹
子
の
飯



阿
や
ゆ
へ
の
里
君
の
心
を
み
た
り
し
る
に
物
は
な
し

信
新
の
話

四
九

秋世をい
まら
河に
かひの
かみ
おれ
あは
い
ま
あ



甲子年

男
分
先
と
乃
我
あ
あ



甲子年

古今

からのくはしのまらなりたれぬ
 ころれりあしりきなきなり
 せりかこのあらしなかりじはしんくちあはら
 びいりむびとるるにきり

河原元大巨源融寛平七年八月薨七十三於在中將非幾光達如何

三
 する男がわりなりなみの家いしおればまぢ人の家
 なるにきりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん女を人よきまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん
 古
 わさしあまのりけりあはのまはあまのり
 なるにきりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん

三

する男がわりなりなみの家いしおればまぢ人の家
 なるにきりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん

なるにきりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん

二条のちりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん

四

なるにきりまもさしりけりあはのまはあまのり
 ん

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper section of the page, consisting of several lines of cursive script.

Small handwritten notes or marginalia on the left side of the page.

Handwritten text in the lower section of the page, continuing the cursive script.

Handwritten text in the lower section of the page, continuing the cursive script.

Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right page.

十二

Main body of handwritten text in Arabic script on the right page, starting below the number 12.

Handwritten text in Arabic script, top line of the left page.

六

Main body of handwritten text in Arabic script on the left page, starting below the number 6.

夕のそなたのせう

古今

みかめのみさきつがめようしんからひらね
つぎあるごとくあまののりたゆくは

小所

ひう。男。み糸。こりたり。くら。あ。え。い。の。い。
くら。い。い。び。り。くら。の。あ。ま。よ

ねも。や。え。ぞ。あ。ま。の。い。い。く。つ。か
の。り。こ。い。あ。ひ。の。あ。ま。の。り。よ

ひう。た。い。め。の。や。ろ。と。あ。ま。の。い。い。
う。び。の。り。よ。な。れ。だ。あ。り。あ。ま。の。い。い。あ。ま。の。い。い。
ら。わ。い。く。だ。い。ひ。の。り。あ。ま。の。い。い。あ。ま。の。い。い。
い。い。く。つ。り。あ。ま。の。い。い。あ。ま。の。い。い。
と。あ。ま。の。い。い。あ。ま。の。い。い。

とよしとごりのくら。た。い。た。ら。い。い。

あ。ま。の。り。よ。り。あ。ま。の。い。い。あ。ま。の。い。い。
水。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

あ。ま。の。り。ご。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。
あ。ま。の。り。ご。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

水。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

貞觀十一年二月。眞明親王。爲皇太子。持高子。爲女御。依春官御母也。
去年十二月廿六日。誕生高子。年廿七。

ひり。あ。ま。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

あ。ま。の。り。ご。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。
あ。ま。の。り。ご。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

ひう。あ。ま。の。い。た。ま。く。り。あ。ま。の。い。い。

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

174

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of several lines of text, with some lines starting with a large initial letter. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

174

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

新

11

あつこいかりしんまふありりけり

賀陽親王桓武第之母夫人多治比三品洛忍貞觀十三年十月八日薨

あつかみのみこころなごころりばはかりさめみあ

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あつこいけりけりけりけりけりけりけりけり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり
あはれなるものなり

又おとし

吹舟よらそをいそりからしむ
あふいそいそい入のちりち

又おとし

^{古本}
^{無作者}
ゆく水いりあひつりちもいりあは
おもしあ人よちあつちり

又おとし

おく水いりあひつりちもいりあは
あいそいそい入のちりち
いりあひつりちもいりあは

う魚いりあひつりちもいりあは

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

あふいそいそい入のちりち

何事

ある男事よき事なりけり
さきもなほなほなほなほ

拾遺

よき物なりけり
よき事なりけり

古今

五作著

よき事なりけり
よき事なりけり

人の國なりけり
人の國なりけり
人の國なりけり
人の國なりけり

古今

五作著

よき事なりけり
よき事なりけり

よき事なりけり
よき事なりけり
よき事なりけり
よき事なりけり

拾遺

あはれ

及撰

よき事なりけり
よき事なりけり
よき事なりけり
よき事なりけり

ゆきのちりたてふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま

よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま

よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま

よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま

よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま
よふまじりてはなれしはなはなこのま

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

新古今
Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a dark ink on aged paper.

あしはつひにささるるをささるるにささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

古今

史記

あしはつひにささるるをささるるにささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる
ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

あしはつひにささるるをささるるにささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

古今

史記

あしはつひにささるるをささるるにささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

清和天皇鷹犬之遊漢獵之娛才嘗留意風姿甚端嚴如神性

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

ささるるをささるるをささるるをささるるをささるる

手紙

石大臣良相百花亭

Handwritten text in Kuzushiji script, likely a letter or official document, starting with a date or reference marker.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

Handwritten text in Kuzushiji script, continuing the document.

源 融

源 融 嵯峨才十三任元大臣仁和三年從二位寛平九年肇車七年八月薨七十三

伊勢守

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of a letter or narrative. The text is written in a fluid, connected style with various flourishes.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text with varying lengths and some decorative elements.

いそはなみのまゝとせしむるもつゝ昔のまゝにわがびとあつたつ
老ぬきつらぬりこれのありこりんば

古今

伊勢内親王首、觀三年九月薨

かひなきしるもりのもりのいそあり

をゆへにむらさきのいそいそ

らゝるゝとるゝとわたりいそ

昔のいそはなむらさきのいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

いそいそいそいそいそいそいそいそいそいそいそ

古今

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text on the right page, starting with a large initial letter.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

Handwritten text on the right page, continuing the previous line.

向白りたる梅よりきく

いづく花をよもすもよりの花
をよもすもよりの花をよもす
いづく花をよもすもよりの花

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅
花の白の梅の白の梅の白の梅

中一将よりけり。男のよして。歴り。ける。

古今
みどり。あ。い。ひ。も。あ。人の。あ。い。
わ。は。く。わ。り。あ。く。い。ん。

古今
ち。ら。あ。な。あ。の。あ。い。い。い。
あ。の。い。い。い。い。い。い。い。い。
の。ら。い。い。い。い。い。い。い。い。

古今
し。男。後。涼。夜。の。い。い。い。い。い。い。い。い。
あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

一

し。男。後。涼。夜。の。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。

Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, top line of the left page.

古今
紀系行

Handwritten text in Arabic script, second line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the left page.

存撰
かゝる

かゝる

草

かゝる

かゝる

かゝる

武本不可有之
仁和のむら

かゝる

かゝる

かゝる

古今

れまの井のほとけのほとけのほとけのほとけ

六百

ある男のうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

拾遺

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

万葉

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

なまのうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

ある人うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

古今

我が心もくもくはなれぬ位よの

作者

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

あやむいづれはうらみはうらみはうらみはうらみは

新古今

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

六百

ある男のうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

まのうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

古今

我が心もくもくはなれぬ位よの

ある男のうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

古今

我が心もくもくはなれぬ位よの

作者

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

ある男のうらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

あやむいづれはうらみはうらみはうらみはうらみは

拾遺

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

作者

うらみはうらみはうらみはうらみはうらみは

ある男は... (S. 164)

あ

うきうきの花とて... (S. 165)

ある男は... (S. 166)

新古今

山一りの井ごの玉火... (S. 167)

いふく... (S. 168)

ある男は... (S. 169)

古今

年をくすす... (S. 170)

女也

日

野とさ... (S. 171)

とよあり... (S. 172)

ある男... (S. 173)

古今

此井よ... (S. 174)

近代以將使事等為之出未未代之人
今亦亦也更亦可用之

世物諸古人之說不同或云出中將之自書或
稱伊勢為化就皮はり書者居るものよ古之人
強亦可尋之化者只可觀初花之條亦而已

戸部尚書 在判

右書本者為定家之自筆 棟本古本所本也

有縁申出為所禮中不違一字一語今遺寫遂
五校就慈魯魚之誤於題道去也午時
長流第二層仲阿初之傳記

伊勢物語よみとせ付

- ▲初段昔男びつとてなまり男とよむべし ▲初段はのぞき次々とよめてのまを
あざりてよむべし ▲二段世人のふとよむべし 後々多段の所譯せ仁もなうゆせのふとよむ
- ▲二段の先七やがぬのまににりてよむべし ▲三段に人あはうとよむべし ▲四段ひんが
女びつとよむべし ▲五段はのらま音のしんちとすうのまきよむべし ▲六段
所何のふてもねんとよむべし ▲八段下總志もげとよむべし ▲九段
はさうえでいまをれはさうえでいまをれとよむべし ▲十段河内志もげとよむべし
- ▲十一段二説とよむべし ▲十二段ありあんとよむべし ▲十三段河内志もげとよむべし
- ▲十四段ありあんとよむべし ▲十五段ありあんとよむべし ▲十六段ありあんとよむべし
- ▲十七段ありあんとよむべし ▲十八段ありあんとよむべし ▲十九段ありあんとよむべし
- ▲二十段ありあんとよむべし ▲二十一段ありあんとよむべし ▲二十二段ありあんとよむべし
- ▲二十三段ありあんとよむべし ▲二十四段ありあんとよむべし ▲二十五段ありあんとよむべし
- ▲二十六段ありあんとよむべし ▲二十七段ありあんとよむべし ▲二十八段ありあんとよむべし
- ▲二十九段ありあんとよむべし ▲三十段ありあんとよむべし ▲三十一段ありあんとよむべし
- ▲三十二段ありあんとよむべし ▲三十三段ありあんとよむべし ▲三十四段ありあんとよむべし
- ▲三十五段ありあんとよむべし ▲三十六段ありあんとよむべし ▲三十七段ありあんとよむべし
- ▲三十八段ありあんとよむべし ▲三十九段ありあんとよむべし ▲四十段ありあんとよむべし
- ▲四十一段ありあんとよむべし ▲四十二段ありあんとよむべし ▲四十三段ありあんとよむべし
- ▲四十四段ありあんとよむべし ▲四十五段ありあんとよむべし ▲四十六段ありあんとよむべし
- ▲四十七段ありあんとよむべし ▲四十八段ありあんとよむべし ▲四十九段ありあんとよむべし
- ▲五十段ありあんとよむべし ▲五十一段ありあんとよむべし ▲五十二段ありあんとよむべし
- ▲五十三段ありあんとよむべし ▲五十四段ありあんとよむべし ▲五十五段ありあんとよむべし
- ▲五十六段ありあんとよむべし ▲五十七段ありあんとよむべし ▲五十八段ありあんとよむべし
- ▲五十九段ありあんとよむべし ▲六十段ありあんとよむべし ▲六十一段ありあんとよむべし
- ▲六十二段ありあんとよむべし ▲六十三段ありあんとよむべし ▲六十四段ありあんとよむべし
- ▲六十五段ありあんとよむべし ▲六十六段ありあんとよむべし ▲六十七段ありあんとよむべし
- ▲六十八段ありあんとよむべし ▲六十九段ありあんとよむべし ▲七十段ありあんとよむべし
- ▲七十一段ありあんとよむべし ▲七十二段ありあんとよむべし ▲七十三段ありあんとよむべし
- ▲七十四段ありあんとよむべし ▲七十五段ありあんとよむべし ▲七十六段ありあんとよむべし
- ▲七十七段ありあんとよむべし ▲七十八段ありあんとよむべし ▲七十九段ありあんとよむべし
- ▲八十段ありあんとよむべし ▲八十一段ありあんとよむべし ▲八十二段ありあんとよむべし
- ▲八十三段ありあんとよむべし ▲八十四段ありあんとよむべし ▲八十五段ありあんとよむべし
- ▲八十六段ありあんとよむべし ▲八十七段ありあんとよむべし ▲八十八段ありあんとよむべし
- ▲八十九段ありあんとよむべし ▲九十段ありあんとよむべし ▲九十一段ありあんとよむべし
- ▲九十二段ありあんとよむべし ▲九十三段ありあんとよむべし ▲九十四段ありあんとよむべし
- ▲九十五段ありあんとよむべし ▲九十六段ありあんとよむべし ▲九十七段ありあんとよむべし
- ▲九十八段ありあんとよむべし ▲九十九段ありあんとよむべし ▲百段ありあんとよむべし

寶曆三載

癸酉正月吉日

浪華畫工 寺井重房圖

同 彫工 坂本甚兵衛

大坂書林 系屋布兵衛版

天神橋筋伏見西替町

